

新たな児童館の運営モデル確立に向けた検討状況について

区は、令和6年3月に策定した「中野区児童館運営・整備推進計画」に基づき、新たな児童館の運営モデル確立に向けて検討を進めているところである。このたび、以下のとおり検討状況を取りまとめたので報告する。

1 運営指針の策定

児童館の役割・機能を十分に発揮するため、18館に共通するビジョンとして運営指針の策定を行う。策定にあたっては、子どもの居場所づくりや子どもの権利に関する専門的知見を有する外部有識者からのアドバイスを踏まえるとともに、現在国で検討が行われている児童館ガイドライン改正案の内容を反映し、年内を目途に策定する。

2 利用ルールの見直し

幅広く利用者のニーズを把握するため、児童館の運営に関するアンケート調査を実施するとともに、子ども会議を開催することなどにより、利用ルールの見直しを検討しているところである。

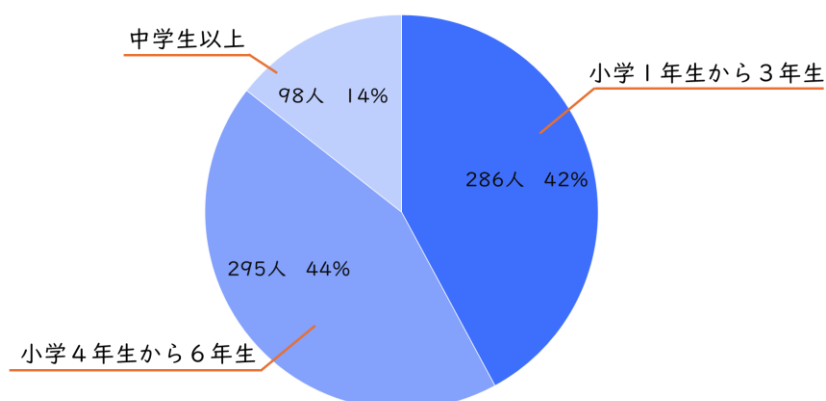
なお、アンケート調査の結果は以下のとおり。

【アンケート調査の概要】

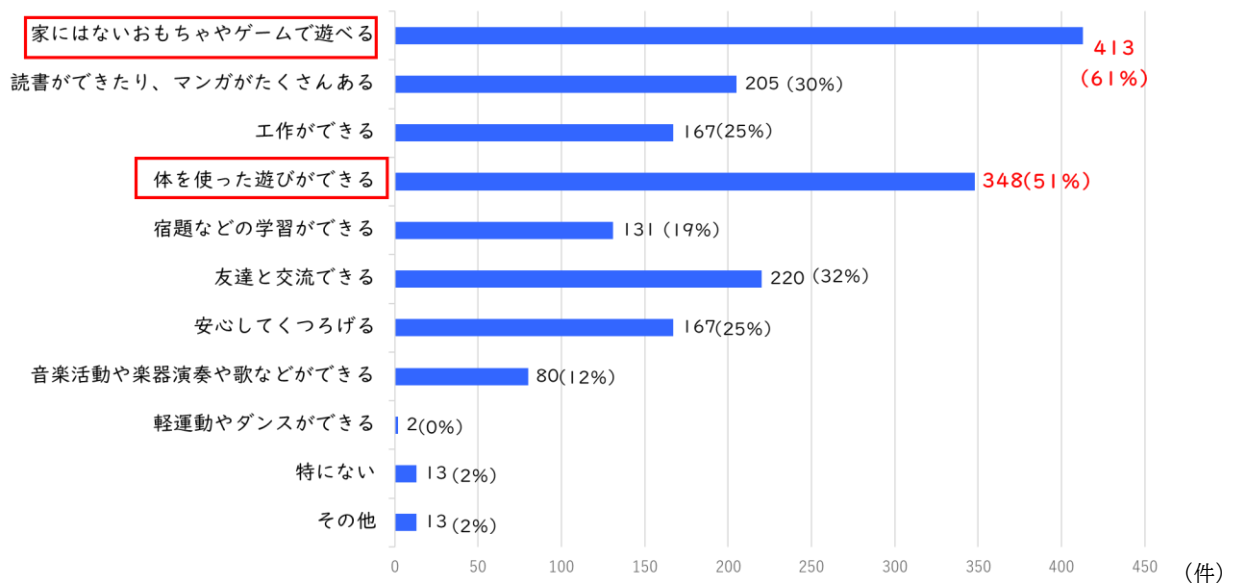
- (1) 調査内容 児童館の利用について
- (2) 調査対象 主に児童館利用者（子どもから大人まで）
- (3) 実施期間 令和6年6月24日から8月31日
- (4) 実施方法 オンライン及び紙ベース（児童館への回収箱の設置）
- (5) 回答数 子ども 679件 大人 293件
- (6) 集計結果 以下のとおり

①子ども向けアンケート集計結果

回答者の属性



児童館でもっと楽しく過ごすために、何が必要だと思うか(3つまで)



児童館で楽しかったこと、続けてほしいこと（自由意見）の主な意見

○遊びについて

- ・かたきやスーパードッジなどのボール遊びが楽しい。
- ・一輪車、積み木、プラズマカーなどのおもちゃが楽しい。

○施設について

- ・宿題ができる場所があるのはうれしい。
- ・漫画や本がたくさん読めてうれしい。

○イベントについて

- ・児童館で開催されているイベント（お祭り、縁日など）が楽しい。
- ・レジンやスライムなど、工作の時間が楽しい。

児童館で嫌だったこと、変えてほしいこと（自由意見）の主な意見

○遊びについて

- ・ボール遊びのときに、1人だけ狙われたり煽られたりする。
- ・ボール遊びの時間を増やしてほしい。

○施設について

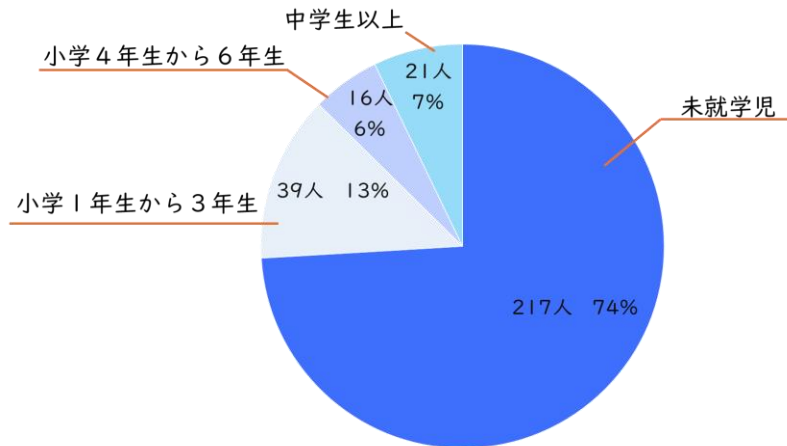
- ・お菓子が食べられない。
- ・ゲーム機やスマートフォンで遊べない。

○おもちゃ・遊具について

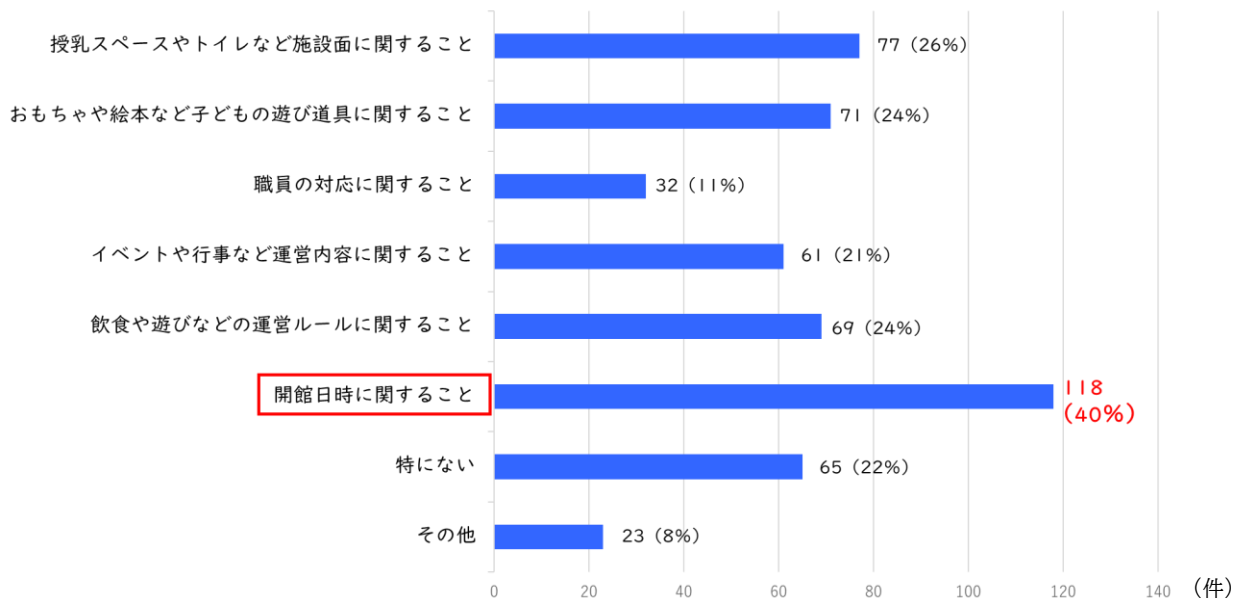
- ・漫画や本がもっとあるといい。
- ・おもちゃや遊具を増やしてほしい。

②大人向けアンケート集計結果

回答者の属性（子どもの年代）



児童館を利用して改善してほしいと感じた点（複数回答可）



見直してほしいことや今後期待すること（自由意見）の主な意見

○開館日時に関する点

- ・親の帰りが遅い日などは、夜間も児童館が利用できたら助かる。
- ・共働き家庭は月曜日に行かせる場所がないので、月曜日に開館してほしい。

○ルールに関する点

- ・時間や場所で区切って、それぞれの年代が効率よく安心して使えるようにしてほしい。
- ・各児童館によって利用できる年齢や時間区分がバラバラで分かりづらいので、統一してほしい。

○飲食に関すること

- ・親子でくつろげるカフェスペースがあれば、他の親子と食事をしながらゆっくり話せる。
- ・夏休み中だけでも昼食を取れるようにしてほしい。

3 モデル事業の実施状況

令和6年6月24日より、城山ふれあいの家及び朝日が丘児童館においてモデル事業として開館日時での拡充を行っている。利用状況（9月20日現在）は以下のとおり。

(1) 開館日の拡充（朝日が丘児童館）

<毎週月曜日の利用状況>

利用者総数：729名（乳幼児親子174名、小学生541名、中高生14名）

1日あたり：約73名（乳幼児親子18名、小学生54名、中高生1名）

【参考】1日平均利用者数：84.7名（令和5年度実績）

(2) 開館時間の拡充（城山ふれあいの家、朝日が丘児童館）

<午後6時から7時までの利用状況>（水曜日・金曜日のみ）

利用者総数：190名（乳幼児親子111名、小学生6名、中高生73名）

4 今後のスケジュール（予定）

令和6年10月～ 利用ルールの見直しの検討

12月 運営指針の策定

令和7年度の見学館運営内容について決定

令和7年 4月 基幹型児童館への移行（9館）

乳幼児機能強化型児童館の委託開始

（朝日が丘児童館及び新井薬師児童館）